

2022 年 3 月 27 日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒5 番（旧 161 番）

『いと聖き御神よ』

聖書⇒詩編 95:1~5 節（OH 兄）

『主に向かって喜び歌おう。救いの岩に向かって喜びの叫びをあげよう。

御前に進み、感謝をささげ／楽の音に合わせて喜びの叫びをあげよう。

主は大いなる神／すべての神を超えて大いなる王。

深い地の底も御手の内にあり／山々の頂も主のもの。

海も主のもの、それを造られたのは主。陸もまた、御手によって形づくられた。』

礼拝讃美歌⇒13 番（旧 153 番）（OH 兄）

『わが主よ星の輝き』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 1:3~6 節（MM 姉）

『御子に関するものです。御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、聖なる霊によれば、死者の中からの復活によって力ある神の子と定められたのです。この方が、わたしたちの主イエス・キリストです。わたしたちはこの方により、その御名を広めてすべての異邦人を信仰による従順へと導くために、恵みを受けて使徒とされました。この異邦人の中に、イエス・キリストのものとなるように召されたあなたがたもいるのです。』

礼拝讃美歌⇒365 番（旧 242 番）（MM 姉）

『ただ主を讃えて』

聖書⇒ナホム書 1:7 節（TM 兄）

『主は恵み深く、苦しみの日には砦となり／主に身を寄せる者を御心に留められる。』

聖書⇒ヨハネの手紙一 3:1a 節（TM 兄）

『御父がどれほどわたしたちを愛してくださるか、考えなさい。それは、わたしたちが神の子と呼ばれるほどで、事実また、そのとおりです。』

《パン裂き》

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 11:23~26 節

『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。』

礼拝讃美歌⇒146 番（旧 61 番）

『小羊の血にて』

《建徳》

聖書⇒マタイによる福音書 16:13~20 節（NH 兄）

『イエスは、フィリポ・カイサリア地方に行ったとき、弟子たちに、「人々は、人の子のことを何者だと言っているか」とお尋ねになった。弟子たちは言った。『洗礼者ヨハネだ』と言う人も、『エリヤだ』と言う人もいます。ほかに、『エレミヤだ』とか、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」イエスは言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」シモン・ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた。すると、イエスはお答えになった。「シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ。あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、あなたの天の父なのだ。わたしも言うておく。あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない。わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上でつなぐことは、天上でもつながれる。あなたが地上で解くことは、天上でも解かれる。」それから、イエスは、御自分がメシアであることをだれにも話さないように、と弟子たちに命じられた。』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 13:11~14 節（KH 兄）

『更に、あなたがたは今がどんな時であるかを知っています。あなたがたが眠りから覚めるべき時が既に来ています。今や、わたしたちが信仰に入ったころよりも、救いは近づいているからです。夜は更け、日は近づいた。だから、闇の行いを脱ぎ捨てて光の武具を身に着けましょう。日中を歩むように、品位をもって歩もうではありませんか。酒宴と酩酊、淫乱と好色、争いとねたみを捨て、主イエス・キリストを身にまといなさい。欲望を満足させようとして、肉に心を用いてはなりません。』

聖書⇒イザヤ書 21:11~12 節（KH 兄）

『ドマについての託宣。セイルから、わたしを呼ぶ者がある。「見張りの者よ、今は夜の何どきか／見張りの者よ、夜の何どきなのか。」見張りの者は言った。「夜明けは近づいている、しかしまだ夜なのだ。どうしても尋ねたいならば、尋ねよ／もう一度来るがよい。』

聖書⇒ガラテヤの信徒への手紙 3:27 節 (KH 兄)

『洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。』

礼拝讃美歌⇒496 番

『たたえよあがないぬイエス』

《建徳要旨》